



令和3年度2月

PTA

神奈川県立秦野総合高等学校

第5号

スポーツフェスティバル

令和3年12月20日(月)

グラウンドでスポーツフェスティバルが開催されました。2・3年スポーツクラスの有志による運営・開催となりました。コロナ禍の中、感染対策の徹底もされました。

校庭から富士山がくっきりと見える程の晴天の中開会式が行われ、生徒たちは恒例のラジオ体操で身体を温めた後、学年ごとにクラス対抗で全4種目を競技しました。また、寒空の中で頑張っている生徒たちに、PTAから本部役員とボランティアの保護者がピロティにて温かいコーンスープを提供しました。



全員リレーは、とにかく盛り上がりました。グラウンドのコンディションが悪いところでは転倒したりバトンミスがあったりと順位の入れ替えが激しく白熱した競技でした。

4人5脚では、4人1組のチームが息を合わせて襷を繋げます。足を結ぶマジックバンドが外れてしまったり足が絡れて転ぶチームもありました。

借り物競走では、借りる人と借りられる人が協力して襷を繋ぎます。借り物カードには血液型が〇〇の人!電車通学してる人!など面白いカードがたくさんありました。

障害物リレーは、「卓球の球を触らずラケットで運ぶ」「ぐるぐるバット」「サッカーボールをドリブルで運ぶ」などの障害物を乗り越え襷を繋ぎます。



必死で競技している選手をよそに応援している生徒たちはとても楽しそうでした。午後からは日陰が多くなり肌寒になってきましたが競技中の生徒たちも応援する生徒たちも一人一人がとてもいきいきとした表情で楽しんでいた様に思いました。

まだおさまりきれないコロナ禍で一つでも多くの行事が行われた事生徒自身が主体となり力を合わせ全力で成し遂げたスポーツフェスティバルだったのではないのでしょうか。

取材を通して先生方、生徒たちの熱意が伝わってくる熱い一日となりました。

ご協力ありがとうございました。



～文化発表会～



令和3年12月22日(水)

コロナ禍の影響により中止となった清峰祭の代わりに文化発表会が、本校教諭・生徒を対象に開催されました。清峰祭に向けて準備してきたクラス看板が展示され、クラスの催しではゲームを実行したクラス、劇を断念し小道具の展示に変更したクラス、発表を中止したクラスなど様々でしたが、清峰祭では恒例のお揃いのクラスTシャツを着て観覧に訪れた生徒たちは満面の笑みでした。

部活動・同好会や選択授業の発表・展示では、初めて友だちの前で弾く箏曲部員さんの緊張した面持ち、華道部の体験コーナーで真剣にハーバリウム作りや生花に取り組む生徒の姿、秦野総合高校ならではのワンダーフォーゲル部の壁に挑戦する様子などが見られました。秦野警察による交通安全に関する体験コーナーや交通課、生活安全課、地域課の講習などが行われました。白バイが展示され近くで見ると迫力がありました。



ステージ発表のある体育館へは、感染対策として入口で消毒をしてマスク着用のもと入場していました。立ち上がった大きな声を出したりしない様に生徒たちは気を付けていました。

また、椅子が間隔を空けて並べられていた為、入場制限もありましたが生徒たちは入れ替わりながらステージパフォーマンスを楽しんでいました。



軽音部によるライブパフォーマンスでは、しっとりとしたアコースティックギターの弾き語りをはじめ、自然と体が動いてしまうパンクなノリの良い曲思わずロずさんでしまいそうな良く耳にする曲などさまざまな楽曲を演奏していました。音楽を心から楽しみ演奏している部員さんたちの思いが観客席へも伝わって熱い気持ちの詰まったライブパフォーマンスにとっても感動しました。

ダンス部のステージでは、各学年ごとのカッコいいダンスやキュートなダンスのあったダンスに会場からはたくさんの手拍子が湧き上がりました。部員さんたちの表情からは、心から楽しんでいるのが伝わって体育館全体が一つになったようでした。



二年次スポーツクラスによる恒例のソーラン節では、先ず体育館入り口に大きく描かれた大漁旗響き渡る太の音に負けないくらいのソーラン節は、観ていてゾクゾクするくらい迫力がありました。

このコロナ禍を吹っ飛ばすほどのパワー!を全力で表現している一人一人の力強い姿はとても感動的でした。

最後に各部長さんからは、「色々な行事が無くなってしまっている中で発表出来る機会を作って頂いた事にとっても嬉しく思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。」と、挨拶があったことがとても印象的でした。